

平成30年第3回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
平成30年9月27日 (木) 午前10時～	7人 (1番から7番まで)
平成30年9月28日 (金) 午前10時～	5人 (8番から12番まで)

質 問 位 順	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	15	自由民主党	吉田瑞生	2	一問一答
2番	10	自由民主党	森長一郎	4	一問一答
3番	8	日本共産党	藤原益栄	5	一問一答
4番	17	新世紀クラブ	竹谷英昭	6	一問一答
5番	14	民政クラブ	雨森修一	8	総括質問
6番	12	公明党	齋藤裕子	10	一問一答
7番	11	公明党	阿部正幸	11	一問一答
8番	9	日本共産党	佐藤恵子	13	一問一答
9番	1	日本共産党	中田定行	15	一問一答
10番	16	市民クラブ	昌浦泰巳	16	一問一答
11番	5	自由民主党	江口正夫	17	一問一答
12番	2	日本共産党	戸津川晴美	18	一問一答

計 12 名

総括質問方式： 1 名
一問一答方式： 11 名

質問順	受付月日	9. 7	通告者	15番	吉田瑞生	
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 多賀城創建1300年（2024年・平成36年）に向けた、外郭南門・築地塀復元事業などの取り組みについて</p> <p>多賀城市が平成23年7月に策定した、「特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画」。宮城県が平成28年3月に策定した、「特別史跡多賀城跡附寺跡整備基本計画」。多賀城市が平成23年12月6日に国の認定を受けた、「多賀城市歴史的風致維持向上計画」。8月5日執行された多賀城市長選挙における「公約」などにのっとり、多賀城創建1300年に向けて、外郭南門・築地塀復元に取り組みたい。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	10番	森長一郎	
2番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. JR下馬駅前の整備について</p> <p>JR下馬駅前広場リニューアル構想の進捗状況を伺う。</p> <p>2. 教員の長時間労働の課題解決対応について</p> <p>文科省は平成29年12月に「学校における働き方改革に関する緊急対策」をまとめ、本年2月に通知。部活動について「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」と位置付けた。</p> <p>その後3月にスポーツ庁が「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を示しており、都道府県が「運動部活動の在り方に関する方針」を策定、市区町村教育委員会は、国の指針にのっとり、県の方針を参考に「設置する学校に係る運動部活動の方針」を策定し、校長は、国、県、市町村のガイドライン、方針を踏まえて毎年度、「学校の運動部活動に係る活動方針」を策定するというのが、大きな流れとなっている。</p> <p>そこで、多賀城市の進捗状況、考え方を伺う。</p> <p>3. 市内小中学校一般教室へのクーラー設置について</p> <p>市長の所信表明でも述べているが、(校舎長寿命化計画を鑑みて)その具現性を伺う。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	8番	藤原益栄	
3番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答

1. 南門復元について

- (1) 市長が南門復元の立場を明確にしたことは評価するが、市長は何を悩み、それがどのように解決をして今の結論に至ったのか、説明をしていただきたい。
- (2) 市長の「南門復元推進」の立場は、昨年8月の「中間報告」「案1」と理解してよろしいか。
- (3) 経過からして、議会と市民に対し当然「最終報告」があるものと理解するが、いつ頃になる予定か。

2. 図書館について

市立図書館、文化センター、多賀城跡、東北歴史博物館をネットワーク化し、文化芸術活動の促進を図るとの市長の立場（所信表明 p7）には賛意を表す。しかし、現図書館の多賀城を紹介ないし調査するコーナーは、東側のガラスケース部分のみとなっており、1300年の歴史を持つ市の郷土資料コーナーとは言い難い。多賀城について多くの記述がある『続日本紀』をはじめとした「六国史」、『万葉集』と大伴家持関連図書、西行関連図書、『古今和歌集』や『新古今和歌集』などの和歌集、鎌倉時代の正史である『吾妻鏡』、南北朝時代の諸文献等を集め、1300年の歴史を実感でき、かつ調査しやすいように、抜本的に改善をするべきと考えるがいかがか。

質問順	受付月日	9. 10	通告者	17番	竹谷英昭	
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 所信表明から</p> <p>(1) 復興の総仕上げとは、残り3年間の継続事業完成はもちろんだが、計画に基づく結果を点検することが肝要だと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 空き家対策について 所信表明には盛られていないが、お考えは。</p> <p>(3) 多賀城農業の基本的考え方について 3期目の所信表明では述べられていたが、今期所信表明に盛り込まれてないことについてのお考えをお伺い致します。</p> <p>(4) 東北学院大学工学部跡地の活用について、市はどのように考えているのかお伺い致します。</p> <p>(5) 第6次多賀城市総合計画の策定について 平成32年度で終了の第5次多賀城市総合計画の次期計画は、今任期中に策定することになるが、市長は次期計画についてどのようなお考えかお伺い致します。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	14番	雨森修一	
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	総括
<p>1. 仙石線下馬駅の整備計画について</p> <p>市長の所信表明の中で、「安全な市民生活を目指す」下馬駅周辺的安全利用対策について一言も触れていない。誠に残念というか言葉になりません。</p> <p>つい4年前、平成26年8月3期目市長選挙戦の公約で「下馬駅前広場のリニューアルの推進」を掲げられました。</p> <p>平成26年第3回議会に於いての駅前整備についての取り組みの一般質問、平成28年第3回議会に於いての同様の一般質問、平成29年第4回議会では昌浦議員も同様の下馬駅前改良についての一般質問をされている事をご案内の通りであります。</p> <p>市長の、6万市民に対し「安全・安心なまちづくり」を訴える言葉の原点とは、一体何であるのか伺うものであります。</p> <p>下馬駅周辺の整備を求めるものであります。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	12番	齋藤裕子	
6番	答弁者	教育長	発言時間	30分	種別	一問一答

1. 教員の負担軽減のための支援員の配置について

教員の長時間勤務の改善は喫緊の課題となっています。文部科学省では2018年度から、教員の事務作業を代行する「スクールサポートスタッフ」を全国の公立小中学校に配置する制度の導入を決めました。いち早く導入された、学校の先生方のアンケート調査によれば、9割が『支援員の配置によって負担軽減につながっている』と回答し、教員が本来の仕事に集中できるようになったと、分析をしている。そこで、教員負担軽減のため、教員が担当する事務の一部や授業準備などを行う支援員「スクールサポートスタッフ」の配置をと考えます。本市の考えを伺います。

2. 学校教室へのエアコン設置について

近年、温暖化による異常気象とも思われる猛暑が続いています。連日の暑さの中での子ども達の学習環境を心配し、保護者の方より、教室にエアコンを設置して欲しいとの声も寄せられています。今年の夏も1日の最高気温が35度以上の猛暑日が続いたことを考えると、児童・生徒の学習環境の悪化、健康面が心配されます。そこで、学校教室へのエアコン設置は早急に整備することが必要と考えます。市長の見解を伺います。

3. 読書環境の推進について

(1) 学校図書の充実について

学校の図書館は、一日のうち大半を学校で過ごす児童・生徒にとって、最も身近な本との出会いの場であり、「心の居場所」となることも期待されています。2005年に成立された「文字・活字文化振興法」では、地域や学校にある図書館の充実・整備を柱に、活字文化振興へ国や自治体に具体策を講じるよう求めています。本市においても、学校司書の配置など進められてきています。そこで、本市の学校図書の充実と学校図書を活用した教育の取り組みについて伺います。

(2) ビブリオバトル(知的書評合戦)の取り組みについて

活字離れが指摘されている現在、読書意欲の向上と、本の楽しさを推進する読書活動として、ビブリオバトルがあります。表現する力と、聞く力を育むとされ、全国の自治体にひろがっております。そこで、豊かな心の育成と学力の向上も期待されることから、ビブリオバトルの推進をと考えます。本市の見解を伺います。

質問順	受付月日	9. 10	通告者	11番	阿部正幸	
7番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 定住対策について</p> <p>全国的に人口減少が進む中で公明党多賀城市議団は、山口市へ視察調査に行きましたが、山口市が取り組んでいる就労支援、空き家バンク制度、定住サポーター制度等の移住・定住対策の取り組みは、大変参考になりました。</p> <p>本市においても、定住対策は大変重要と認識しており、今後の取り組みについて伺います。</p> <p>2. 所信表明の6つの柱の政策から2点について</p> <p>9月7日の所信表明の中で市長は6つの柱を政策の基本に掲げました。その中から2点伺います。</p> <p>(1) 「誰もが安心な長寿社会の実現」について</p> <p>高齢者の方々が気軽に外出する機会を増やすため、その環境を整えることは介護予防の観点からも重要なことであり、市内を運行している多賀城東部線・多賀城西部線のバス利用を促進するための対応策を検討するとのことですが、具体的にどのように検討するのか伺います。</p> <p>(2) 「多賀城創建1300年に向けた『歴史都市 多賀城』の創造について</p> <p>「多賀城跡」を郷土の誇りとして後世に伝えるため、多賀城南門の復元とガイダンス施設の整備に取り組むとのことですが、事業のあり方については、どこの組織で具体的な取り組みを進めていくのか伺います。</p> <p>3. 危険なブロック塀等の対応について</p> <p>大阪府北部地震でブロック塀が倒れて児童が犠牲になった事故がありました。このような悲惨な事故を二度と起こさないためにも、本市における危険なブロック塀等の対応について伺います。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	9番	佐藤 恵子	
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 市民、高齢者の足の確保、交通問題について</p> <p>(1) 市長選で公約した後期高齢者の市内循環バスの運賃半額化はいつから実施するのか。宮城交通バス汐見台団地線を利用する市民の運賃も同様に半額にされたい。</p> <p>(2) 運賃の半額化は、後期高齢者だけではなく、全市民を対象にされたい。</p> <p>(3) 市長は選挙用運動ビラで、自動車運転免許の自主返納を促進するとしているが、どの様にすすめるのか、具体策を示されたい。</p> <p>2. 災害公営住宅の家賃軽減延長等について</p> <p>(1) 軽減延長の決断を先延ばしするのではなく、被災者が安心して暮らせる様、本市も実施を明言されたい。</p> <p>(2) 収入超過者の家賃上昇を抑制する等の対策を検討されたい。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	1番	中田 定行	
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 「少子社会への対応」として、国民健康保険税に子育て世帯減免制度を設けてはどうか。</p> <p>今年度から国民健康保険税の県単位化が実施されました。「激変緩和措置」により国保税の負担増は先送りされています。</p> <p>安心して子育てを行うために、国民健康保険税の「均等割り」を見直し、子育て世帯減免制度を設けるべきと考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>2. 「安全な市民生活の実現」のために</p> <p>(1) 七北田川左岸の早急なる河川整備を宮城県に要請すべきと考えるがどうか。</p> <p>七北田川左岸の田子大橋付近が河川浸食による氾濫想定区域に指定されています。宮城県に対し河川改修を早急に実施するよう働きかけ、市民の不安をなくすべきだと考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>(2) 岩切駅南口周辺の仙台市道の拡幅を仙台市に要請すべきと考えるがどうか。</p>						

岩切駅南北自由通路と南口自転車等駐車場の整備が進められています。供用開始されれば南口周辺の仙台市道の混雑が予想されます。市民の安全確保のため、周辺市道の拡幅等を仙台市に要請すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

質問順	受付月日	9. 10	通告者	16番	昌浦泰已	
10番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 長町利府断層からの地震について</p> <p>次に備えが必要と指摘されている長町利府断層の地震について</p> <p>(1) 市当局は長町利府断層を震源とする直下型地震について、現時点でどのような認識をお持ちでしょうか。</p> <p>(2) 庁内から選抜した職員の研究チームを作り、対策等を検討するお考えはありでしょうか。</p> <p>2. 小・中学校のトイレの洋式化とエアコン設置について</p> <p>(1) 市長の所信表明で、小・中学校のトイレの洋式化については老朽化対策の一環のように述べられています。これからの4年間で完了すべきと考えますが市長のお考えは。</p> <p>(2) 今年の夏を振り返ると、小・中学校の全ての教室にエアコンの設置が必要不可欠と考えますが、市長のお考えはいかがなものでしょうか。</p>						

質問順	受付月日	9. 10	通告者	5番	江口正夫
11番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 水道事業の危機管理体制について</p> <p>今月6日、北海道胆振東部地震が発生し、液状化現象、地滑り等で、多くの被災者、住宅の倒壊、ライフラインの停止等、大きな被害が出ました。</p> <p>震災直後は大規模な停電や断水のため、東日本大震災時のように、恐怖と不安で食料品や飲料水を求めて、多くの被災者がコンビニ等に殺到しました。</p> <p>(1) 市の西日本豪雨、北海道胆振東部地震への給水支援は。</p> <p>(2) 本市の災害初動時の市民への給水支援の体制及びその要領は。</p> <p>(3) 危機管理対策として、東日本大震災以降、持続可能な給水の主要な取組み状況と課題は。</p> <p>2. 地区防災計画策定の推進について</p> <p>国は平成25年災害基本法を改正し、地区防災計画制度を創設し、「地区防災計画ガイドライン」が示され、その策定を推進しています。</p> <p>近年、災害が多発し、その被害規模は大規模化、広域化し、また避難の遅れによる被害の拡大を招いていることから、モデル地区の住民等が居住する地区の災害リスクを把握し、対処法を検討し、実施する方策を自ら定め、地区の特性に応じた計画を策定するものであります。</p> <p>(1) 本事業の今後のスケジュールは。</p> <p>(2) 市の防災システムの研修や地区の防災上の現地調査活動の実施は。</p> <p>(3) 市として、モデル地区の計画策定への支援内容は。</p> <p>(4) 同計画を市の地域防災計画への位置付け、関連の考えは。</p> <p>3. 市民プールの維持管理について</p> <p>市は、平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の更新計画に反映する内容及び見直し時期について、遅くとも平成32年度までに行うとしています。今年の2月に、熱交換器が損傷し4月に更新しました。その際、一部の配管内部は口径の半分が狭窄化しており、また、天井から剥離片の落下が多く発生し、防水シートの劣化による雨漏りも起きている状態です。将来的な維持管理のあり方は今後、議論されるものと思料します。</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画の見直し等の今後のスケジュールは。</p> <p>(2) 当面、長寿命化策として、不具合事項の改善は。</p>					

質問順	受付月日	9.7	通告者	2番	戸津川 晴美	
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 介護保険事業の改善策について</p> <p>(1) どんどん引き上げられる介護保険料は重い負担となっている。これ以上の引き上げに歯止めをかけるには、どうしても、国の負担率を引き上げる必要があると思うが、いかがか。</p> <p>(2) 低所得者等に対する、本市の保険料減免措置は基準がきびしく、対象は限定されている。減免措置の拡充を求めるが、いかがか。</p> <p>(3) サービスの利用料負担は、今後も1割の原則を守るよう国に求められたい。いかがか。また、利用料に対する補助制度を本市として検討していただきたいが、いかがか。</p> <p>(4) 今年度から実施される、要介護者に対する生活援助サービスの回数制限は、おこなうべきでないと思うが、いかがか。</p> <p>2. 小・中学校の教室等へのエアコン設置について</p> <p>地球温暖化等の影響で、気温上昇が続き、県内でも熱中症が多発している。子どもたちの命を守り、学ぶ環境を整えるためにも、早急に普通教室を含めて、エアコン設置を進めるべきと思うが、いかがか。</p>						